

議会だより



やまきた 第169号

平成24年5月1日



4月7日に開催されたソーラン山北よさこいフェスティバル2012

目次

- 平成24年第1回定例会……………P 2～3
- 委員会審査報告……………P 4～6
- 平成24年第1回臨時会・第2回臨時会……………P 7
- 審議結果……………P 7～8
- 一般質問……………P 9～19
- 議会活動報告・活動予定……………P 20

3 月 定例会

総額83億4262万円

平成24年度予算を可決

平成24年第1回定例会が3月5日から19日まで開催されました。主な議題は、平成24年度予算12件の審議でした。他に条例改正6件、補正予算8件、人事案件4件等が審議され、原案どおり可決されました。

予算総額は、83億4262万円で、一般会計は49億円、10の特別会計は合計で31億7295万円、水道事業会計は2億6966万円となりました。

一般会計

昨年と同じ4分の1だが、今後見直しの考えは。

原議員 三保幼稚園の給食調理の統合は、1年据え置きの方針変更が示されました。これに係る費用の補正予算は行わないのか。

町長 臨時職員の配置換えにより対応し、補正予算の計上はしません。

小栗議員 西部清掃組合では、東日本大震災のがれき処理の支援を検討されたか。
町長 最終処分を長野県へ委託しており、受け入れは難しいと判断しています。

渡辺議員 給食費の補助は

昨年と同じ4分の1だが、今後見直しの考えは。

町長 財政上厳しい中、受益者負担や教育的観点からも、3年を目安に見直していきます。

渡辺議員 健康福祉センターの修繕は、基金の積立により予算の平準化を図るべきではないか。

町長 積立ができるよう検討します。

府川議員 予算概要では、災害に強いまちづくりの推進を強調しているが、どのような予算化か。

企画財政課長 大雨や台風

等に備え、土木費など道路水路、河川等の改修を予算化しています。

府川議員 河内川ふれあいビレッジの再オープンに向けたイベントの予算は。

町長 予算は計上してないが、地域と話し合い、記念的なことを行っていきたい。

川村議員 町の借入額が増えている中、将来にわたるシミュレーションは検討されているのか。

企画財政課長 現在の実質公債費率の11%の維持を考えています。

岩本議員 予算総額は前年

度比1.9%の減であるが、元気な山北のまちづくりと身の丈に合った町政運営との整合性は。

町長 元気なまちづくりのために様々な問題がありますが、少子高齢化などの予算を付けました。

原議員 足柄茶の風評被害対策として、足柄茶祭り等の全国へ向けた宣伝が必要ではないか。

町長 県や関係団体が一緒になってキャンペーンを行う。県知事の参加による茶摘み大会など、様々なイベントが企画されています。

原議員 山北ブランドとして、足柄茶を使った製品開発や、婦人会等への呼びかけにより、山北ブランドの充実に取り組みが必要ではないか。

町長 山北の資源を生かした様々なものでアピールし、さらに良いものを作りたい。

きたい。

佐藤議員 子育て支援の充実したまちづくりを推進する中で、保育園では、園児の面倒を見られる家族がいる場合は、園では預からないのか。

町長 出来るだけお預かりする方向で考えています。

瀬戸(恵)議員 緊急雇用創出事業は23年度で終了したが、24年度の対応は。

企画財政課長 ファミリーサポートは、新たに国庫補助を導入し子育て支援として事業展開を図ります。また、ウッドボイスは、自立に向け建物の使用料を補助いたします。共和福祉バスは、総務費に移し、山北ブランドは宣伝の事業展開を図ります。

町民課長 費用の抑制効果が認められる方をリストアップし、年2回個人あてに通知する予定です。

小栗議員 現在三保地域中心に設置しているが、清水、共和、高松地域の計画はあるのか。

町長 長期的計画の中で、検討していきます。

藤原議員 老朽化した施設の維持管理対策は。

生活環境課長 皆瀬川浄水池の第1配水池の耐震診断

特定健診を平日から土日に変えるなど、利便性を図り実施するので、費用の増額となりません。

渡辺議員 組織改革をし、充実した保健事業を掲げているが、予算に見えてない。

町長 多額の費用がかかる精神疾患や高齢者の生活習慣病などは保健師を増やし、医療費を抑制していきたい。

渡辺議員 今年度新たに取組むジェネリック医薬品の指導は。

町民課長 費用の抑制効果が認められる方をリストアップし、年2回個人あてに通知する予定です。

小栗議員 現在三保地域中心に設置しているが、清水、共和、高松地域の計画はあるのか。

町長 長期的計画の中で、検討していきます。

藤原議員 老朽化した施設の維持管理対策は。

生活環境課長 皆瀬川浄水池の第1配水池の耐震診断

をしています。
藤原議員 放射性物質の検査委託はどのように実施されているのか。

生活環境課長 毎月1回水道企業団に検査を委託しています。

小栗議員 防災対策として非常用飲料水貯留槽の設置を考えているか。

生活環境課長 町内4基設置していますので、今年度予定していません。

条例改正

〈山北町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例〉

スポーツ基本法の施行に伴い、体育指導委員の名称を変更するものです。

〈山北町特別職の給与及び旅費に関する条例〉

町長の給与を30%、副町長の期末手当を15%減額するものです。

〈山北町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例〉

教育長の期末手当を10%減額するものです。

〈山北町職員の給与に関する条例〉

地域手当4.5%を4.1%に変更するものです。

原議員 国の法律では、当地域は0%となっているがどの程度まで下げる考えか。

町長 3%を目指したいと考えますが、給与全体を勘案して決めていきたい。

〈山北町営住宅条例〉

第1次地域主権一括法の公営住宅法施行令改正に伴い変更するものです。

〈山北町立中川温泉ふなの湯の設置及び管理に関する条例〉

障害者自立支援法の施行に伴い、知的障害者及び精神障害者についても障害者

区分の適用に伴い変更するものです。

〈山北町議会委員会条例〉

役場の組織機構の見直しに伴い、常任委員会の所管を変更するものです。

以上、7件全員賛成で可決しました。

平成23年度補正予算

平成23年度の一般会計、特別会計、水道事業会計については、各事業の事業費の確定によるもので、全員賛成で可決しました。

さらに一般会計として、オリンピックロンドン大会マラソン代表の尾崎好美選手の応援事業（横断幕等）として、歳出70万円の増額予算が追加提案され、全員賛成で可決しました。

一般会計

小栗議員 清水テレビ組合の老朽化した幹線ケーブル更新の助成は。

町長 検討していきます。

渡辺議員 ドクターヘリの運営負担金は、山間部を背負う町が出動回数に比べて負担することはいかがか。

町長 町民でない人がヘリを使い、その経費を町が負担するのはおかしいので、強く要望していきたい。

指定管理者の指定

河内川ふれあいビレッジの指定管理者を清水地区振興協議会・中川温泉ふなの湯の指定管理者を山北町観光協会とするもので、全員賛成で可決しました。

町道路線の廃止・認定

新東名高速道路の工事用道路を存続し、町道として将来管理することに伴い、町道247号塩沢2号線の起点の変更による路線の廃止及び認定・町道10号河内川谷戸線の認定をするもので、全員賛成で可決しました。

足柄消防組合規約の変更及び解散

消防広域化に向け、足柄消防組合を解散して事務の継承団体を決定すること、並びに、組合を解散する協議をすることに伴い、規約の変更及び解散の協議をするもので、全員賛成で可決しました。

山北町議会

会議規則の改正

標準議会規則に合わせる変更で、全員賛成で可決しました。

人事

〈山北町監査委員の選任〉

相原勇治氏の任期満了に伴い、石田利雄氏の選任が提案され、全員賛成で同意しました。

〈山北町固定資産評価審査委員会委員の選任〉

武尾昌則氏が任期満了のため、引き続き再任の提案がされ、全員賛成で同意しました。

〈山北町選挙管理委員会委員及び同補充員の選任〉

任期満了に伴い、委員は関昭男氏、磯崎孝二氏、細谷順司氏、岡崎克彦氏、補充員に瀬戸和雄氏、武井佳久夫氏、岩本兆幸氏、佐藤素史氏が当選されました。

〈松田町外三ヶ町組合議会議員の選任〉

任期満了に伴い、竹内一氏、中戸川治平氏、荻野茂一氏、鈴木敏正氏が当選されました。

報告

平成24年度山北町土地開発公社事業計画及び予算



尾崎好美選手の懸垂幕

委員会審査報告

総務環境常任委員会

総務環境常任委員会では、平成24年度一般会計、災害給付見舞事業、下水道事業、町設置型浄化槽事業、財産区（山北・共和・三保）、商品券の各特別会計予算および水道事業会計予算を審査しました。

一般会計

原委員 町債が増額になっている。厳しい財政で増やした理由は。

町長 駅北側整備、新東名対策、災害対策で緊急に着手せざるを得ないものです。

渡辺委員 年少扶養控除の廃止の影響は。

税務課長 2700万円の増額となり、前年度当初に比べ4.9%増となります。

瀬戸（恵）委員 ぶなの湯指定管理使用料を200万円とした根拠は。

産業観光課長 入り込み客

が大幅に減少し、指定管理者と何度も協議した結果の計上です。

原委員 つぶらの周辺地域振興基金の充当先は。

企画財政課長 都天良野橋改修、町道風線、山北ふるさと館の設計です。

府川委員 情報公開事業と個人情報保護事業の開催状況は。

総務防災課長 上郡5町で共同設置し、個人情報の指針などを検討しました。

川村委員 防犯灯の電球交換費用の3割助成の経緯は。

企画財政課長 各地域から

委員長	岩本 章治
副委員長	渡辺 良孝
委員	川村 俊治
同	原 憲司
同	佐藤 光男
同	府川 輝夫
同	瀬戸 恵津子

の強い要望に応えました。

佐藤委員 弁護士への報酬費は相談が無くても支払っているのか。

総務防災課長 契約により顧問料を支払っています。

府川委員 電気料は東電以外との契約を検討したか。

総務防災課長 検討したが、メリットがありません。

渡辺委員 スマートIC委託内容は。

政策秘書課長 IC実現化のための調査委託です。

原委員 土地利用調整等資料作成委託料は。

保用地の土地利用資料作成などです。

川村委員 ハイツ&ヴィラ跡地の進捗状況は。

政策秘書課長 県と用地購入協議をしています。24年度は基本構想作成と不動産鑑定を実施します。

瀬戸（恵）委員 城山の道路区画線設置工事はいつを予定しているか。

総務防災課長 新年度早い時期に着手します。

原委員 水源林整備費が減額されている。水源環境税交付金の活用は。

産業観光課長 5年経過し都市部で活用できるようになり、若干減少しました。

水源林の間伐・枝打ち等の整備計画や整備を実施していきます。

原委員 水源林整備費の河川・水路の浄化対策は。

都市整備課長 丸山南裾の川村用水の水路整備を予定しています。

川村・瀬戸（恵）委員 実験店舗の改修内容は。

定住対策室長 旧JAの店舗を多目的に使用できるように改修します。

原委員 元気づくりプランの土地購入費と用地購入に伴う補償費、推進業務委託料は。

定住対策室長 土地購入等は上半期を目途に契約したい。推進業務委託料は、PFIの住宅事業や商業開発事業を具体的に推進する業務委託料です。

渡辺委員 町は日本さくらの会の賛助会員であるが、苗木はもらえるのか。

生活環境課長 希望どおりにはいかないが、申請すればもらえます。

佐藤委員 駅周辺の桜消毒料とテングス病対応は。

生活環境課長 害虫が発生した場合消毒し、テングス病の状況を見ながら剪定等を行います。

府川委員 みかんや野菜の放射能検査は。

産業観光課長 町独自ではしていないが、県が実施している。

原委員 浅間山農道整備の排水処理は。

産業観光課長 排水調査の状況に応じて改修します。

渡辺委員 日向活性化施設

利用者が少ない、改善策は。

産業観光課長 利用者を増やすため、管理人受け付けを検討していきます。

佐藤委員 農園指導員の仕事内容は。また、農地を町が借り受けて問題はないか。

産業観光課長 指導員3名により作付けの相談や未作付け地の草刈り等をしています。農地は農業委員会にかけており、違法性はありません。

原委員 商工観光課新設の目的は。

町長 商工会等と連携を密にし、商工業や観光の発展を目指します。

川村・原委員 平山の古民家の修繕費と利用目的は。

産業観光課長 公共下水道関連の整備で、来年4月オープンを予定し、観光客の滞留時間延長を図るため、食事を提供するものです。

川村委員 町道狭あい道路拡幅整備事業に伴う土地は購入するのか。

都市整備課長 道路行政に必要なところは購入していきます。

原委員 新東名環境調査委

託のオオタカの調査は、町が全額負担か。

都市整備課長 高松の土地利用の観点から町が申し出たので、全額町負担です。

佐藤委員 除雪の謝礼金は、都市整備課長 高松地区・共和地区は業者が少なかったため、地域に除雪をお願いしています。

川村委員 戸別受信機は自治会長に貸与するが、交代した場合の取り決めは、

総務防災課長 新たに防災リーダーを位置づけ、長期に連携を図る考えです。

川村委員 アマチュア無線の登録協力者に交信周波数は伝えているか。

総務防災課長 会議や訓練で周知を図っています。

瀬戸（恵）委員 災害弱者に対する支援体制は、

総務防災課長 要援護者1名に対して近隣住民2名で担当する体制です。

府川委員 防災助成金の対象物品は、町が指定するもの以外も可能か。

総務防災課長 地域の要望に対応していきます。

佐藤委員 消防団員福祉共

済掛金と消防団員公務災害補償掛金の相違は。

総務防災課長 福祉共済は一時的な弔慰金、見舞金で補償掛金は障害を負った場合の継続的な年金です。

原委員 職員数は、現業職を減らして一般職を増やしていくのか。

町長 全体で第6次行政改革大綱に定めている152名以内を考えています。

全員賛成で了承しました。

特別会計

〈災害給付見舞事業・下水道事業〉

質疑はなく全員賛成で了承しました。

〈町設置型浄化槽事業〉

原委員 国県の支出金と歳出の金額が同額ではない。維持管理費が予備費への計上はわかりにくい。

生活環境課長 支出は、すでに設置した維持管理費用も含まれており、国県の支出金が事業費と同額でなく、残り部分は予備費に含まれ

ています。なお、決算時にわかりやすい資料を提出します。

全員賛成で了承しました。

〈共和財産区〉

原委員 森林整備助成金はどこに支出するのか。

総務防災課長 地区振興協議会です。

全員賛成で了承しました。

山北財産区、三保財産区について、質疑はなく全員賛成で了承しました。

〈商品券〉

瀬戸（恵）委員 敬老祝金

が大きな金額を占めているが、他に売れる方法はないか。また換金状況は。

産業観光課長 お楽しみ券付きなど検討していきます。

期限切れは年間40万円位あります。

全員賛成で了承しました。

水道事業会計

佐藤委員 水道事業運営委員会は、料金改定等も含めて審議するのか。

生活環境課長 値上げ前提ではなく、水道の現状、周辺市町の状況、施設充実費用等を示し、今後の水道経営について審議していただきます。

全員賛成で了承しました。

渡辺委員 水道会計の財政運営は。

生活環境課長 平山工業団地に入る企業等の使用を望めるが、ハイツ&ヴィラなどの廃止により、経営は今後も厳しい状況です。

全員賛成で了承しました。

福祉教育常任委員会

福祉教育常任委員会では、平成24年度山北町一般会計、国民健康保険事業、後期高齢者医療、介護保険事業の各特別会計予算の審査をしました。

一般会計

瀬戸（顯）委員 パークゴルフ場使用料は、当初の目標値より下回っているが、利用見込みは。

生涯学習課長 シーズンオフでのオープンや天候不良のため目標値を下回ったが、24年度は年間合計53、

850回分を見込みました。

小栗委員 福祉タクシー運行事業の試行期間と内訳は。

福祉課長 10月ごろから3か月間を予定しており、事業費は運行に係る全てを委託する費用です。

藤原委員 医療給付費の増額につながる精神疾患の心の健康対策事業助成金は、

これで足りるのか。

福祉課長 町の予算は少ないが、県の予算の中で1市5町・保健福祉事務所と合同で取り組んでいきます。

石田委員 南原公園の遊具解体撤去が計上されているが、新しい遊具を設置するのか。

福祉課長 地元の要望に基



委員長 鈴木登志子
副委員長 瀬戸 顯弘
委員 藤原 浩
同 石田 照子
同 熊澤 友子
同 小栗 直治
同 池谷壮次郎

づき老朽化した遊具を撤去し、新たには設置しません。

小栗委員 高齢者見守り支援事業の予算内容は。

福祉課長 GPS 機器の加入料金等で、5 台分を計上しました。

池谷委員 県西地域広域斎場建設協議会負担金の内容と完成はいつか。

福祉課長 事務局職員の人件費で、完成は未定です。

小栗委員 保育所児童委託事業の町外委託は、町の施設が空いているので、町施設を利用していたら行政指導をしているのか。

福祉課長 町内保育園の利用をお願いしていますが、保育制度や保護者の職場関係などから、やむなく町外施設に委託をしています。

鈴木委員 町外受託者数は。

福祉課長 11 人です。

小栗委員 国保への操出金が昨年より増えているが、医療費削減につながる新規施策が見受けられない。予算編成に対する考えは。

町民課長 税率の改正や前期高齢者交付金の増加などに基づき計上しました。

熊澤委員 ドクターヘリ運営費負担金の搬送実績と町民の利用割合は。

健康づくり課長 搬送者は町民 10 名、町外 7 名です。

小栗委員 森林セラピー推進協議会助成金の使途内容とオープン後の管理運営方法は。

健康づくり課長 助成金は、6 月のグランドオープンの経費、運営費、ガイド講習会経費です。オープン後は、森林セラピーの会費で運営していきます。

熊澤委員 岸幼稚園敷地測量業務委託料及び地質調査委託料は、岸幼稚園を建替えるためか。

学校教育課長 岸幼稚園の建替え、総合子ども園の整備、幼稚園の統合を検討していく中で、まず測量等を行うものです。

小栗委員 学校統合推進事業の臨時職員の業務内容は。

学校教育課長 生徒の心のケアを行う教育相談の業務を行います。

池谷委員 学校間交流事業の 160 万円の内訳と交流事業の内容は。

学校教育課長 バスの運行経費で年間 30 回分です。交流内容は部活動や授業の中で一緒にできる授業を行う計画です。

池谷委員 川村小学校の門扉を設置するとの回答があったが、予算計上がされていない。

学校教育課長 今後設置する予定です。

藤原委員 小中学校体育館の照明器具のボルトなど保守点検を行っているのか。地震等で落下した場合に大惨事となるので、しっかりとした対応を。

学校教育課長 通常は目視による確認をしているが、今後検討をしていきます。

熊澤委員 ふれあい広場整備事業は、町の学童保育所をどこか余剰教室に設置し、改修するのか。人数は何人か。現在ある 2 つの学童保育所とどのように調整するのか。

生涯学習課長 25 年 4 月に開設するため川村小学校 A 棟 1 階の 2 教室を改修し、設置します。人数は 70 名で、現在行っている 2 団体に今

後の方向性を検討していただいています。

瀬戸（顯）委員 図書システム構築業務委託料の内容とその効果は。

生涯学習課長 システムをクラウド化し、メンテナンスが軽微になるほか、検索もスピードアップします。

全員賛成で了承しました。

特別会計

〈国民健康保険事業〉

小栗委員 運営協議会はどのような視点で何回開催し、提言内容は。

町民課長 23 年度より 2 回多い 6 回を開催し、情報提供や事業運営に関する協議を行い、多くの意見や提言をいただきました。

藤原・石田委員 特定健診を受けない方への対応と受診結果による健康管理や栄養に関する指導は。

町民課長 早めに周知し健康指導を行っていきます。

健康づくり課長 保健師と管理栄養士と一緒に訪問し、適切な指導を行っていきます。

す。

全員賛成で了承しました。

〈後期高齢者医療〉
質疑はなく、全員賛成で了承しました。

〈介護保険事業〉
小栗委員 町の福祉推進に係る事業で、さらに委託が増えた場合には助成金を増額する考えがあるか。

町長 必要な事業であれば助成せざるを得ないと考えています。

全員賛成で了承しました。

鈴木委員 介護認定は、申請から認定までどの位かかるのか。また、認定審査会共同設置負担金が減額になった理由と審査会が年間 2 回減の理由は。

福祉課長 期間は約 1 か月かかります。負担金は、事務局職員の人件費の減額で、審査会の回数は、予定人数より実績人数が少ないためです。

全員賛成で了承しました。



第1回臨時会
(1月19日開催)

条例改正

〈山北町立の小中学校等の設置に関する条例の一部改正〉

山北町立中学校の統廃合について、現行条例の一部改正に伴い提案され、全員賛成で可決しました。

特別会計補正予算

〈国民健康保険事業〉

県国民健康保険広域化等支援基金からの借り入れや保険給付費の増額などにより、歳入歳出それぞれ１億２３６９万円を増額するもので、全員賛成で可決しました。

第2回臨時会（2月22日開催）

条例改正

〈山北町課設置条例の一部改正・山北町水道事業の設置等に関する条例の一部改正〉

住民サービスのさらなる充実と行政課題の解決に向けた行政組織及び機構の見直しに伴い提案され、全員賛成で可決しました。

〈山北町国民健康保険税条例の一部改正〉

国民健康保険の財政健全化を図るため提案され、全員賛成で可決しました。

山北町介護保険条例の一部改正

介護保険法の一部改正と介護保険料の改定に伴い提案され、全賛賛成で可決しました。

審議した議案と議員の賛否

平成 24 年第 1 回臨時会（1 月 19 日）

[illegible]

平成 24 年第 2 回臨時会（2 月 22 日）

[illegible]

平成 24 年第 1 回定例会（3 月 5 日～ 19 日）

[illegible]

議案 番号	議員名（議席順）		結 果	川 村 俊 治	原 憲 司	渡 辺 良 孝	藤 原 浩	岩 本 章 治	石 田 照 子	佐 藤 光 男	熊 澤 友 子	府 川 輝 夫	瀬 戸 顯 弘	小 栗 直 治	鈴木 登志子	瀬戸 恵津子	
	議	案															
18	平成 23 年度山北町三保財産区特別会計補正予算（第 2 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	平成 23 年度山北町介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	平成 23 年度山北町水道事業会計補正予算（第 3 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	平成 24 年度山北町一般会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	平成 24 年度山北町国民健康保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	平成 24 年度山北町後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	平成 24 年度山北町災害給付見舞事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	平成 24 年度山北町下水道事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	平成 24 年度山北町町設置型浄化槽事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	平成 24 年度山北町山北財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	平成 24 年度山北町共和財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	平成 24 年度山北町三保財産区特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	平成 24 年度山北町介護保険事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	平成 24 年度山北町商品券特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	平成 24 年度山北町水道事業会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	指定管理者（非公募施設）の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	町道路線の廃止について（No.247 号（塩沢 2 号）線）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	町道路線の認定について（No.247 号（塩沢 2 号）線）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	町道路線の認定について（No.10 号（河内川谷戸）線）			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	足柄消防組合規約の変更について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	足柄消防組合の解散について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	山北町監査委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	山北町固定資産評価審査委員会委員の選任について		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	平成 23 年度山北町一般会計補正予算（第 10 号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 1	山北町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 2	山北町議会会議規則の全部改正について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
－	山北町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について		当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
－	松田町外三ヶ町組合議会議員の選挙について		当選	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 1	平成 24 年度山北町土地開発公社事業計画及び予算について		報告のみ														

○は賛成、●は反対を表しています。池谷荘次郎議長は、採決に加わりません。



小栗直治 議員

まちづくり

Q 町長の提案されている元気な町づくりについて

A さまざまな意見を聞いて実施していきます

町長は町のリーダーです。自らメッセージをだされ、山北町の方針を決定、予算計上し努力する必要があると思います。

質問 元気な町づくり推進にあたりどのような施策と予算が当初予算書に反映されているか。

また、推進組織である役場機構の見直しをされたのか。

回答 定住対策や福祉の充実、安全・安心な町づくりなど、元気な町づくりの推進に必要な経費を可能な限り盛り込んだ編成としました。

また、組織機構の見直しは保健福祉健康づくりの連携や、商工観光の強化をはかるなど、本町が抱える行政課題等を解決するために実施するものです。

質問 元気な町づくり推進財源は確保されているのか。

また、町民推進組織は確保されているのか。

回答 推進財源は、将来に向けて不透明な状況にあるが、毎年

総合計画のローリング等の取り組み、国・県補助金等の活用、PFI事業の活用などにより、財源を捻出、確保していきます。また、自治会・婦人会などのグループ・団体を積極的に支援し、活動の輪を広げていきたいと考えています。

質問 元気な町づくり推進に当たり活動拠点づくりは出来ているか。

また、中心になる町民リーダーの育成はされているか。

回答 活動拠点として、児童館、公民館、集会所などが利用しやすく、施設の修繕等を支援し、活動場所の確保に努めていく考えです。

また、リーダーの育成は重要であるので、活動機会の提供や情報発信等に努めていきたい。

質問 元気な町づくりをするためには町民の意見を積極的に聞くといわれているが、どのようにして町民ニーズをとらえているか。

回答 毎年実施している座談会、自治会要望、町民アンケート、町民ボスト、ホームページ等の問い合わせコーナー等を通じて町民ニーズをとらえています。

質問 緊急課題になっている国民健康保険の財源問題、町民の健康づくりの推進、高齢者支援対策、学校統廃合問題、若者の人口流失や増え続ける放任農園など解決策を当初予算に取り入れるべきではないか。

回答 さまざまなことを着実に一步一步ひるむことなく前に進んでいきたい。これが町が元気になることと思っています。

質問 今年足柄茶は以前のように消費者に買ってもらえますか。町として安全ですと言う宣伝をする考えはあるのか。

回答 足柄茶は当町だけでなく、協議会や県・他市町村と連携して、風評被害対策に取り組んでいます。実際の効果を見きわめ、必要に応じて補正予算も考えていきます。



足柄茶の茶畑

安全対策



府川輝夫 議員

Q 安全・安心で潤いのある酒匂川水系の整備を

A 地域を巻き込み県へ施策提案を発信します

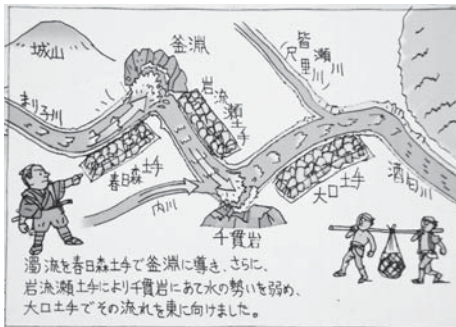
■酒匂川の安全対策

質問 住民は、酒匂川文命西堤（岩流瀬）の護岸崩壊の危険性を脅威に感じており、状況を知ることでも安心するものと考えますが、台風等による被害や護岸復旧工事の状況を広く地域住民へ説明されたのか。

回答 酒匂川は県が管理しており、直接町が主体となつて地域住民への説明はしていません。アナウンスは必要だと思ひますので、県とも相談してまいります。

質問 岩流瀬上流（湯坂）の急斜地崩壊対策の復旧工事が進み安心してゐるが、その上流には川岸が一部崩れ危険な地域がある。この護岸工事の計画はどうか。

回答 県の河川計画は大口橋までですが、引き続き上流の対策を町として強く要望してまいります。



岩流瀬橋の「酒匂川治水史探訪マップ」

■酒匂川の利活用

質問 県では、酒匂川左岸の河川管理道路を、山北高校から大口橋まで10年をかけ整備すると聞くが、この県の事業を利活用し右岸に負けないサイクリングコース等の設置を町から県へ発信したらどうか。また、更に上流の日向・平山まで護岸を整備し通行可能により、水害対策、美観対策、観光客・釣り人の入込、住民の健康促進と町内外の交流による地域の活性化に繋がると考えるが。

回答 そのように出来たら良いと思います。現実的には、時間もかかるが、安全対策、安心対策、全対策がなされないと難しいと考へておきます。

■河川の減災対策

質問 酒匂川と尺里川に囲まれた河川護岸より低い地域は、集中豪雨等による外水氾濫や内水氾濫による浸水の危険があります。住民への啓発やシグナル表示として、標高等を地図に載せた看板「浸水ヒヤリ・ハットマップ」の設置をすべきではないか。

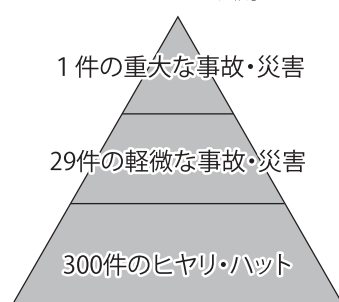
回答 今回の様々な体験のなかで、消防団、地域の自主防災組織にお願いするよう検討を進めているところです。

質問 県の酒匂川水系の浸水想定区域には、日向の田畑が対象となっているが、町の水害ハザードマップには表示されていない。近隣の住民へ、危険情報を周知すべきではないか。

回答 防災マップ等に浸水想定区域を載せていますが、東日本大震災後に、県も見直しを進めており、町は県と整合性が取れるよう見直しをしています。

質問 消防団第4分団は、風水害等の緊急時対策として、自主

ヒヤリハットの法則



※ヒヤリハットマップとは、重大な災害(事故)には至らないが、発生してもおかしくない一歩手前の事例をまとめた危機管理を啓発する地図です。



川村俊治 議員

少子化対策

Q 過去の質問に対するその後の取り組みは

A モデル的に婚活イベントを開催します

■少子化対策

厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が50年後の日本の総人口を、現在の1億2800万人から8600万人まで減少する推計を示しました。人口構成から推計すると山北町は8000人程度になると考えられます。

若年層の晩婚化・未婚化が進んでいるので、平成22年6月に婚活を応援する提案をしました。それに対して「婚活を支援する組織づくりと活動支援に取り組む」との答弁をもらっています。

質問 その後の取り組みはどうなっているか。

回答 国等の調査資料によると、約半数の自治体が何らかの婚活支援を行っており、その半数以上が少子化対策に効果ありと回答しています。

町では、出会いの場づくり事業として、24年度にモデル的に婚活イベントを開催することを

検討しています。

質問 国勢調査によると晩婚化、未婚化が進んでいるが山北町はどうか。

回答 女性の生涯未婚率は平成22年に9.4%であるが、50年後には20.1%になると推計されています。山北町では平成17年のデータで30歳から34歳代の女性の未婚率は42%となっています。

質問 出生率回復には子育て支援と婚姻促進がある。出会いの場はインターネットもあるが、質が大切だと考える。町が行うことで安心感を与えられると思うがどうか。

回答 モデル事業としてやりたいが、小さい町では人が集まらないなど難しい問題もある。しかし始めなければ進まないもので、モデル事業として計画したい。



■健康診査の充実と健康づくり

平成20年から特定健康診査と特定保健指導が義務付けられました。生活習慣病を予防し、医療費の低減を目指す目的です。

山北町では平成24年度に受診率目標65%、5年間で8400万円の経費を見込んでいました。並行して健康づくり事業も実施しています。

質問 目標に対し成果は上がっているか。

回答 受診率を上げるために対応策を立てて取り組みできたが、22年度で26.5%、24年度を含めた経費は約3900万円の見込みです。

質問 特定保健指導の効果はどうか。

回答 メタボ



特定健康診査

リックに特化した健診なので、内脂肪症候群の減少率に着目すると着実に減少しています。

質問 今回、国保税を上げるが、健康づくりを実施して医療費低減に結び付けることが重要と考えるがどうか。

回答 健康福祉センターには設備が整っており、保健師の増員などして今後はさらにステップアップしていきます。

定住対策



瀬戸恵津子 議員

Q 人口増に取り組んでいるが山北駅無人化の影響は

A J Rと駅の利活用について協議している

定住総合対策事業大綱に基づき人口増加への総合的な取り組みをしているところに、突然山北駅の無人化がJR東海静岡支社から通知され、今後のまちづくりに影響があるのではと懸念される。

地域の方たちの理解と協力が必要ればまちづくりが推進できなくなると思います。

質問 定住総合対策事業大綱に基づき事業に取り組んだというが成果を示されたい。

回答 空き家バンク事業では、平成21年から24年2月まで51件の契約を達成し、135人が定住しました。企業誘致では、山工業団地等に5社の企業を誘致し、雇用効果として合計約450人、町内で約90人の雇用があり、一定の成果がでています。

子育て支援では、出産祝い金は平成22年度から24年2月までに101件の申請がありました。

また、紙おむつ購入券の発行や中学校終了時までを対象とした小児医療費無料化も行い、大変充実しているという声をいただいています。

質問 山北駅の無人化の決定により、今後の町の取り組みは。

回答 駅の利活用についてJR東海と交渉・協議しています。利活用は2段階で行うこととし、まずは、町がJR東海と簡易委託販売契約を締結し、5月頃から町民グループの協力を得て切符を販売し、出札業務を行うようにしたい。

次の段階で物品販売、観光案内や展示スペース等は今後検討していきます。

質問 健康づくりも町づくりだと思いが、組織改革で健康づくり課の統合により、健康づくりや受付業務等に支障はないか。

回答 健康づくり班として従来どおり健康福祉センターで業務を行いますので、支障はありません。

質問 予約について、土日や夜間にも予約できるシステムの導入はできないか。

回答 現在の予約状況は、昼間のみ電話で受け付けていますが、土日や夜間については、順次検討していきます。

■ボランティアポイント事業について

質問 協働のまちづくりを進めるために、他町でも行っているボランティアポイント事業を本町でも試行したかどうか。

回答 本町におけるボランティア



車椅子ボランティアによる福祉体験教室

23年12月から24年2月まで調査研究期間として実施しました。この調査を参考に、活動の範囲や年齢、活動に対する対価等について、ボランティア活動の拠点となっている社会福祉協議会とともに、早期に実施できるように検討を進めていきたい。



身障協会歩行訓練会誘導ボランティア



瀬戸顯弘 議員

まちづくり

Q デマンドバス実験運行調査は

A 実験結果をもとに検討します

■デマンドバスの実験運行

質問 平成23年度に取り組んだデマンドバス実験運行のための調査状況は。

回答 調査の結果を受け、4月以降、町と自治会他関係団体による地域公共交通会議を立ち上げ、地区の実情に応じた運行計画を協議し、事業化に向けた手続きをしていきます。協議結果は逐次広報していきます。

質問 実験運行時の対象者、料金、運行方法等はどう考えているか。

回答 ①清水・三保地区の高齢者を対象にする。②事前の登録利用予約制とする。③実証実験中は利用料金を無料とする。④運行エリアと指定乗降場所は、地区利用者宅から役場支所、谷峨駅、山北駅周辺施設、役場健康福祉センター、郵便局とする。⑤運行時間は、日常生活の利便性向上につながる時間帯とする。

質問 実験運行はいつ開始する

のか。また、費用対効果を充分検討すべきと思うがどうか。

回答 10月過ぎに実験運行を開始し、期間は概ね3ヶ月間を目安とします。

費用対効果については、交通弱者対策を主眼に、地域の要望を吸い上げ、実験結果を基に町の交通政策全般の中で検討していきます。

■山北ブランド商品の開発

質問 山北ブランド商品開発発表はいつか。

回答 開発商品について商工会から3月末に町へ報告されます。町でも各種イベントや、町のホームページなどのメディアを活用して町内外にPRしていきます。また、商品を店舗等で製造していくため関係機関と連携して普及していきます。

質問 さらなる開発には町の各種団体との連携が不可欠と思うが。

回答 山北町の多様な資源を新

たにブランド化するためにも、今までの開発過程でのノウハウを生かしながら、関係機関や各産業間との連携を図っていきます。

山北ブランド開発商品



お惣菜「おっ!むすびコロッケ」



和菓子「やまぶきの花」

■武道の必修化

質問 中学校の武道必修化での、初心者への安全対策の配慮は。

回答 中学生は武道の初心者か



多く、特に柔道は受け身の練習に時間をかけていきます。受け身の習得は、簡単な投げ技から段階的に練習していく、基本を重視した指導をしていきます。

質問 武道の授業時数と授業時期は。

回答 保健体育の授業は年間35週で105時間の授業時数の中、必修武道の時数は8〜12時間で、年間計画に基づき、各学校ごとに計画を立て連続的に実施します。

質問 限られた授業時数の中、さらなる安全を確保するための方策は。

回答 教員を武道研修や指導法の講習に積極的に参加させ、学校側から補助員等の要請があれば、町体協や関係先に指導、協力をお願いしていきます。

防 災



藤原 浩 議員

Q 学校の防災機能強化は

A 庁舎防災倉庫で対応

■元気な山北のまちづくりは

質問 当初予算案の概要で「元気な山北のまちづくり」を掲げられているが人口減少傾向にある中、どのように住民に期待と希望を与えていくのか、その成長戦略は。

回答 山北駅北側の定住促進住宅、高齢者福祉タクシーの試行運転、地域防災計画の策定等を推進します。

また、喫緊の行政課題を明確に示し、現在の総合計画を1年間前倒しして次期計画を策定していきたいと考えている。

質問 厳しい社会情勢の中、経済不安を取り除く施策があつてしかるべきと考えるがどうか。

回答 まずは着実に元気づくりプランを実行し、ご理解を頂くことで行政として町民の経済不安に配慮していきたい。

■防災資器材の配備は

質問 各学校は児童生徒の安全を確保するだけでなく、地域の

避難場所として指定されている。学校の防災機能の強化についてどのように考えているか。

回答 ハード面では耐震工事の実施、防災資器材等の備蓄、災害用の情報伝達体制を整備しています。ソフト面では自衛隊・県警と連携した防災訓練を実施、今後はソフト面に重点を置き、避難所運営マニュアルを策定していきたい。



質問 交通が寸断された場合、

学校は単独で機能する必要がある。現在備蓄されている非常食糧は少ないと考えるがどうか。

回答 各学校の備蓄食糧は少な

いが、庁舎の地下に1万食以上備蓄があり、交通が寸断された場合でも対応します。

■非常用トイレ、飲料水

質問 非常用トイレを用意しているが、2千人規模に対応出来る状況か。

回答 汲み取りトイレ、直接下水道に流すトイレ、固形物処理が出来るトイレの3種類を用意し対応できます。

質問 震度5で給水はストップされる。山北中学校には非常用貯留槽があるが、他の学校にはポリタンクの用意しかない。飲料水確保についてどのように考えているか。



回答 町のタンク車で運ぶか、ポリ缶で対応します。



■災害時の情報伝達手段

質問 2月の富士河口湖地震の際、児童の急な引き取りが必要になったが、学校と相互連絡が取れなかった。現在の緊急連絡網以外の情報伝達手段は考えられないか。

回答 チェックインシステムの利用が考えられる。担当課で必要に応じ配信することが出来る。

質問 被災時の想定は難しい。相互理解を深めるため保護者と話す機会を設けていただきたい。

回答 各種団体、保護者等に情報提供し、自助努力をお願いし、説明したいと考えている。



熊澤友子 議員

生涯スポーツ

Q 山北町パークゴルフ場の開設後の状況は

A 検討課題は多いができるところから改善します

山北町パークゴルフ場は、オープン後6ヶ月となります。

利用者の意見や苦情等の問題点を改善することにより、町民や

町外から訪れる方々に喜んでいただけるパークゴルフ場にして

いくことが大切であると思います。

町長に今後の対応を伺います。

また、利用者からアンケートにより38件のご意見が寄せられました。既に改善済みのものも

ありますが、対処できるものはできる限り早く改善するよう努力しています。

質問 目標の利用者数に対して、実際の利用者は厳しいものと伺っている。現状の受け止め方と対策は。

回答 10月から1月までの、利用者予測数は1万3,760名で、総利用者数は8,409名と約5,300名下回っています。今後は、年間を通して問題

点の分析や解決方策等を検討していきます。

質問 町主催の大会を企画していく考えは。

回答 利用者の状況を見ながら検討していきます。24年度は考えておりません。

質問 利用者からの意見や苦情が寄せられていると思うが、問題点の改善は。

回答 オープン当初、ボールに汚れ等が見られました。最終的にはティーグラウンドの素材に問題があり、人工芝に張り替えました。

また、利用者からアンケートにより38件のご意見が寄せられました。既に改善済みのものも

ありますが、対処できるものはできる限り早く改善するよう努力しています。

質問 当初トイレをウォッシュレットにという要望はなかったのか。

回答 設計段階にはありませんでしたが、冷たいという意見があり、暖房便座を設置していきます。

質問 コース内の安全対策は。

回答 ネットが多いとのこと意見をを受け、24年度早い時期に、低木植栽を行い、水はけの悪い部分は今後改善していきます。



小学3年生以上から利用できます

質問 県道より、パークゴルフ場への出入り口の改善は。

回答 県道の停止線の後退について、松田警察署では、後退すると国道への進入に時間がかかり、赤信号で交差点に入ってしまう車両もあり、安全性の確保が図れませんとの回答です。引き続き関係機関と検討、協議を続けていきます。

質問 管理委託を今後、指定管理者にする考えは。

回答 年間を通しての実績が不明な段階ですので、今のところ

ろは指定管理者にする考えはありません。

質問 団体の申し込みは、役場受け付けのため、時間がかかります。パークゴルフ場の窓口で、申し込み・支払いができるようにする考えは。

回答 皆さんのご意見を伺い、柔軟に対応していけるように、規則を変えることも考えていきます。

質問 当日利用券をいつでも利用できる券への改善は。

回答 利用者を増やしていきたいというのが町の考えですので、いろいろなアイデアを含めて、直ちに検討していきたい。

えっております。

分は今後改善していきます。

です。



教育環境



石田照子 議員

Q 心のケアと適切な人員配置を

A 適切な教育活動ができるよう配慮



4月からスタートしたスクールバス

回答 現在、三保幼稚園の食材費は山北・岸幼稚園に比べ高く、24年度から、山北・岸幼稚園と同じ食材単価とし、わかば

質問 災害時には調理員さんが現地にいた方が、緊急時に対応が出来ますし、これ以上地域に根差した商店がなくなつては元も子もなく、地域振興の面からも地域での食材調達が必要かと考えます。また、三保幼稚園の素晴らしい特色でもある、見え

回答 現時点では、関連法案の成立の道筋は不透明な状況にあり、町としては、国の動向に注視しながら、幼保一体化を検討する時期を見定めていきたいと考えます。

小中学校統廃合問題は、これ以上の混乱を招かないよう地域の方々には、細心の注意を払う必要があると考えます。

質問 スクールカウンセラーの利用状況とその効果は。

回答 残念ながらあまり利用されていません。

質問 子供たちは心の悩みを言葉に表すことが上手にできません。利用しやすい教室の配置、利用時間の工夫等細心の注意を。

回答 利用しやすい環境づくりに配慮していきます。

質問 中学校の教科はより専門性が問われますが、しっかりと

した人員配置が図られるように。

回答 県の教育委員会を通して各学校が教科指導等充実が図られるようお願いしているところであり、万全な指導体制が確保できると思います。

質問 人員配置は統合校と不公平が生じる事のないよう、教育環境の提供を。

回答 生徒数の減少に関わらず、適切な教育活動ができるよう努めていきます。

質問 三保、清水地区の方々に、統廃合により、精神的に大きな負担をおかけしています。そんな最中、三保幼稚園の給食が突如外部調理に変わるとの町側の説明に、当事者のみならず、地域の方々まで不安を煽られています。真相は。

質問 保育園の給食室から運搬することを考えています。

をし、教育の統一と整備を図るべきと考えますが。



小学校の授業風景

る食育の場は是非残すべきと考えます。

回答 地域の方から早急すぎるなどのご意見を伺っていますので、4月からの移行は見送り、改めて1年間をかけ皆さんに説明していきたい、ご理解いただければ、その後配送に切り替えていきたいと考えます。

質問 今、民主党政権で検討されております、幼保一体化については、山北町でも早目な対応



渡辺良孝 議員

防災対策

Q 地域防災計画の見直しに向けて

A 1 年前倒しで見直しを行う

質問 国ではここで防災基本計画を修正し都道府県を通じて市町村で具体的な基準を策定するよう準備を進めている。当町の地域防災計画を見直す考えは。

回答 1 年前倒しで、平成 24 年度に見直しを行うこととした。具体的には広域避難場所などは、地域にとって一番安全だと思われる所を細かく精査し実施していきたい。

質問 今年度自治会長を通じて各地域の避難所・避難場所の実態調査を行ったが、1 回の調査で良いのか。

回答 今回の見直しは、現実には、そぐわない事項の追加・修正を行う予定であり、計画に掲載できない新しい情報は、実践に備えた対応を考えています。

質問 住民の防災意識が上がっている今、町が主導で自主防災組織の充実に取り組む必要があると考える。

回答 自主防災組織の重要性を十分認識しているので、今後も



増水した酒匂川

各種支援に力を入れていきます。平成 23 年度から防災資機材購入の助成率を 80% から 90% へ、上限を 40 万円から 90 万円に拡大しました。

質問 自主防災組織のリーダーは、自治会長が兼務しているが、各自治会のリーダー育成・充実は、町の指導で出来ないか。

回答 自治会長に兼務でお願いしている。任期の問題や統率上の現実的問題を含めて慎重に検討していきたい。

質問 当町の災害想定は、帰宅困難者の受け入れや、待機施設

の配置が特に必要と考える。

回答 台風での経験を生かし、清水・三保については各支所を共和地域や御殿場線で帰宅できない場合などは、中央公民館を避難所とします。さらに、東北駅周辺については、現在山北高等学校と施設利用に関する協定の協議を進めている。

質問 宝永の震災・噴火により、酒匂川の氾濫と治水工事の歴史は、町民の防災意識高揚に生かしていく考えは。

回答 東日本大震災で、過去の教訓を生かすことの重要性を認識しているので、こうした歴史をホームページやいろいろな機会を通じて周知していきたい。

■山北駅無人化対策について

質問 山北駅無人化が具体化されるが、鉄道の町の歴史を重く受け止め、JR 東海には積極的かつスピード感を持って交渉する必要がある。

回答 当面無人化をしないよう

対応し、その後については、さまざまな提案をいただき、利活用を図っていく考えである。

質問 北原白秋が「山北」を詠んだ詩がある。山北周辺の活性化に活用できないか。

回答 御殿場線が本線時代の山北駅は、歴史に残る鉄道の町として様々な文化人の記録等が残っている。それらも合わせて活用していきたいと考える。



森林保全



岩本章治 議員

Q 外国人の山林取得防止について

A 関係機関と連携して検討する

■水源地域の山林買占め

質問 水源地域の山林が買い占めされているニュースが、NHKで報道された。その面積は620ヘクタールに及ぶという。

神奈川県の場合は、水源地地域山林の整備協定が設けられ整備に前進がみられるが、全国的には必ずしもそうではありません。

このような状況の中、埼玉県では外国人の山林取得禁止条例が日本の法律に

無いため、売買の際は事前に届け出る条例を制定する予定です。

水源地域の山林を守る意味合いから、本町でも

事前に届け出る条例を独自に制定する考えは。

回答 報道された埼玉県の「水源地域保全条例案」は2月の県

議会へ上程予定の事であります。

埼玉県内では外資による買収はないようですが、北海道で多く行われていることが背景にあるのかと思います。

林野庁では、昨年4月に森林法を改正し、今年4月から森林地を取得したときは、市町村に届け出る制度を設けました。これは森林所有者が誰か分からないことにより、行政が森林所有

者に対して助言等が出来ないことや、間伐整備等を実施する場合に所有者に働きかけて、森林を集約化し、効率を上げる

ことが出来なくなるおそれがあるためです。

神奈川県では、水源地環境保全・再生交付金を活用し森林所有者と町が整備協定を結び、整備を行っています。

神奈川県内では、外資による売買はないようですが、所有者の水源地域の保全施策に対する意識の醸成や、県・町が実施する施策にご理解ご協力が必要

です。ご提案は、国全体で取り組むべき重要な事項でありますので、関係機関と連携して検討していきます。



整備が行われている森林

者に対して助言等が出来ないことや、間伐整備等を実施する場合に所有者に働きかけて、森林を集約化し、効率を上げる

ことが出来なくなるおそれがあるためです。

神奈川県では、水源地環境保全・再生交付金を活用し森林所有者と町が整備協定を結び、整備を行っています。

神奈川県内では、外資による売買はないようですが、所有者の水源地域の保全施策に対する意識の醸成や、県・町が実施する施策にご理解ご協力が必要

です。ご提案は、国全体で取り組むべき重要な事項でありますので、関係機関と連携して検討していきます。



大野山

質問 神奈川県では、売買はな

いと答弁されたが、0.6ヘクタール買収されていると報道されています。山北町に置き換えて見れば、皆瀬川の上流には共和・山北財産区所有の山林が大半を占めていて安堵しているが、恒久的に外資に売買できないように取り組みますと断言出来ないか。

回答 町として出来ることは行っています。



原 憲司 議員

まちづくり

Q 森林と清流を生かしたまちづくりを

A 森林・水源環境の整備に取り組みます

美しい森林と清流を生かしたまちづくりを積極的に推進するため、県の水源環境保全税を財源とした水源環境保全・再生市町村交付金を活用し、森林や水源環境の整備を行う必要があります。

■地域水源林の整備は

質問 平成19年度から5年間で実施した森林の保全再生事業や水源環境への負荷軽減事業の整備状況は。

回答 私有林や町有林の地域水源林の整備を123 ha、経路や丸太柵工の整備を7.5 km、滝沢高松作業道の整備を3 km、日向地区農業用水路の整備を100 m、地下水の調査を4か所、三保地域町設置型合併処理浄化槽を103基設置する事業を実施しました。

質問 平成24年度からの県の第2期実行5か年計画に基づく町の整備計画は。

回答 浅間山、丸山、平山、高

松地区の地域水源林の整備を65 ha、滝沢高松作業道を1 km、三保地域町設置型合併処理浄化槽を90基設置整備すると共に、農業用水路の整備や地下水保全対策の事業を実施する計画です。

質問 森林再生と異業種と連携した新たな雇用創出の具体的な取り組みは。

回答 県の水源環境保全税を計画的に活用し、作業道の整備や間伐材を利用したチェーンソーアートなどによる地元雇用を考えています。



森林整備

■再生可能なエネルギー利用は

質問 森林整備から発生する間伐材等を有効に活用した木質バイオマスエネルギー利用の考えは。

回答 間伐材等の有効活用は地

球環境への負荷軽減を図るうえで大切なことですが、安定的に原料の確保ができない現状から現段階では難しいと考えます。



ペレットストーブ

質問 間伐材等を原料とする木質ペレットストーブの設置推進及び購入助成についての考えは。

回答 間伐材やペレット販売が安定的に確保できないこと及び間伐材回収運搬費やペレットストープ購入費等を考慮すると現実には難しいと考えます。

質問 本町の清流と健康福祉センター前の水車を利用した水車による小水力発電施設の建設の考えは。

回答 水源の町として、一番有効な小水力による発電施設を何らかの形で造りたいと考えています。



小水力発電設備

■水源環境への負荷軽減は

質問 三保地域町設置型合併処理浄化槽整備事業に対する公共・事業施設の整備の進め方は。

回答 工事費や使用料が一般家庭より高額になるため、県に補助制度の拡充を強く要望し、普及に努めます。

質問 公共下水道区域外の清水共和、高松地区の合併処理浄化槽の設置整備の進め方は。

回答 当地区には、個人が国県町の補助金を活用して設置する個人設置型合併浄化槽の設置を普及促進していきます。

議会活動報告

議会活動予定

4 月	
6	議会だより編集委員会
10	議会だより編集委員会
17	議会だより編集委員会
19	議会だより編集委員会
24	県議長会 4 月役員会
26	議会運営委員会
〃	第 3 回臨時会・本会議
〃	全員協議会

3 月	
5	第 1 回定例会・本会議
7	第 1 回定例会・本会議
〃	全員協議会
8	第 1 回定例会・本会議
9	議会あり方検討委員会
12	第 1 回定例会・本会議
〃	委員会合同現地調査
13	第 1 回定例会・本会議
〃	福祉教育常任委員会
14	総務環境常任委員会
16	拡大議会あり方検討委員会
19	第 1 回定例会・本会議
〃	全員協議会
30	議会だより編集委員会

2 月	
7	足柄上郡議員研修会
10	全員協議会
〃	議会あり方検討委員会
17	県議長会 2 月役員会・定期総会
22	議会運営委員会
〃	第 2 回臨時会・本会議
〃	全員協議会

議会の傍聴においで下さい

6 月定例会(予定)

6 月 5 日(火)～



庁舎内テレビでも放映しています

お問い合わせ 議会事務局 75-3653

●議会ホームページ●

<http://www.town.yamakita.kanagawa.jp/gikai/>

6 月

5
第 2 回定例会・本会議

5 月

23 郡町村議会議長会総会
あしがらブロック会議
常任委員会正副委員長研修会
議会運営委員会
議長・副議長研修会
29 県議長会 5 月役員会・臨時総会
30 正副議長研修会
〃 31



やまきた桜まつりイベント

議会だより編集委員会
委員長 熊澤友子
副委員長 原 憲司
委員 渡辺良孝
藤原 浩
石田照子
府川輝夫

※来夢(こらむ)：夢や希望を想いにのせ、「来夢」と名付けました。



(熊澤 友子)

は、町民の方々の協力を得て、無人になった山北駅を変えようとしています。私も、温かく親しみのある駅にしたいと思う取り組みしたいと思います。

山北駅は、3 月 17 日から無人駅となりました。町内の駅すべてが、無人駅です。駅と共にキヨスクも閉店となりました。駅とキヨスクは、朝の挨拶から始まり、通勤・通学の方、観光で来られた方や近所の方など、いろいろな人々が立ち寄り、品物を求めその中で会話が生まれます。その会話から、安心や安全を感じることもできました。今は、誰もいません。行政

無人駅

来夢

こらむ